

患者さんのご家族・関係者へ

疫学研究「神戸市圏域における交通事故による避けられた外傷死に関する現状調査」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

2001 年厚生労働省科学研究において本邦の防ぎ得た外傷死(**preventable trauma death: PTD**)に関する調査が行われ、病院到着後死亡例の半数近くを占めていたことが初めて明らかになりました。その後一部地域では圏域内 **PTD** がどれほど発生し推移しているのかを調査し、病院前救護・救命医療の質向上に活用している自治体もありますが、兵庫県・神戸市ではこのような調査はこれまで実践されておらず、地域における **PTD** の発生頻度、問題点の抽出や対策に関する検討はなされていません。本研究の目的は、神戸市における交通事故死亡(受傷後 24 時間以内の死亡)事例において **PTD** 発生の現況を調査分析し、地域の外傷救急医療の質向上を目指すことです。

2. 疫学研究実施期間

倫理委員会審査承認後から 2025 年 3 月末まで

3. 疫学研究に参加していただく対象患者さん

2020 年 4 月～2023 年 3 月に神戸市内で発生した交通事故により受傷から 24 時間以内に死亡された方。

4. 疫学研究の方法について

兵庫県警から上記対象期間内に神戸市内で発生した交通事故死亡症例の情報（発生日時、場所、年齢、性別、搬送先医療機関）の提供を受け、この症例リストを神戸市消防局の搬送記録と照合し、救急指令から病院着までの搬送経過時間、接触時バイタルサインと処置、ドクターカー等要請の有無、症例概要等を調査します。更に搬送先医療機関における収容時バイタルサイン、その後の治療経過、診断と **ISS** 等を記録します。治療内容、入院期間、来院～診断までの時間、来院～決定的治療開始までの時間、輸血量、直接死因、合併症などを抽出し、予測生存率 **Ps** を算定し、**Ps 0.5** 以上の死亡、即ち予測外死亡症例を同定します

抽出した修正予測外死亡症例に関して、外部委員（外傷専門医）を含んだ **peer review** を行い、最終的に **PTD** を確定するとともに、当該症例の問題点等を議論します。

結果の概要を神戸市消防局 **MC** 協議会の下部組織である適正搬送協議委員会にて報告します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

本研究は後方視的研究であり、患者さんへの直接的な介入はないので本研究による患者さん及び関係の皆さんへの障害が発生する可能性は低いですが、この疫学研究に参加するかしないかは皆様の自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、いつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。

6. 患者さんの人権・プライバシーの保護について

警察、消防、医療機関から提供されるデータは、氏名や住所等を含まず、研究に関わるデータは兵庫県災害医療センター内で匿名化した上で電子媒体として記録し、学会発表、論文作成などの際には個人を特定できない形で公表します。匿名化されたデータはUSBに保存し、災害医療センター内の施錠された場所で厳重に保管します。ご心配な点がありましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

7. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

9. この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この研究は当院の倫理委員会の承認を得て実施します。

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

氏名; 石原 諭 職名 : センター長 連絡先;078-241-3131